

がん検診受診率向上に 向けた取組について

令和 3年 8月

健康福祉局 健康づくり推進課

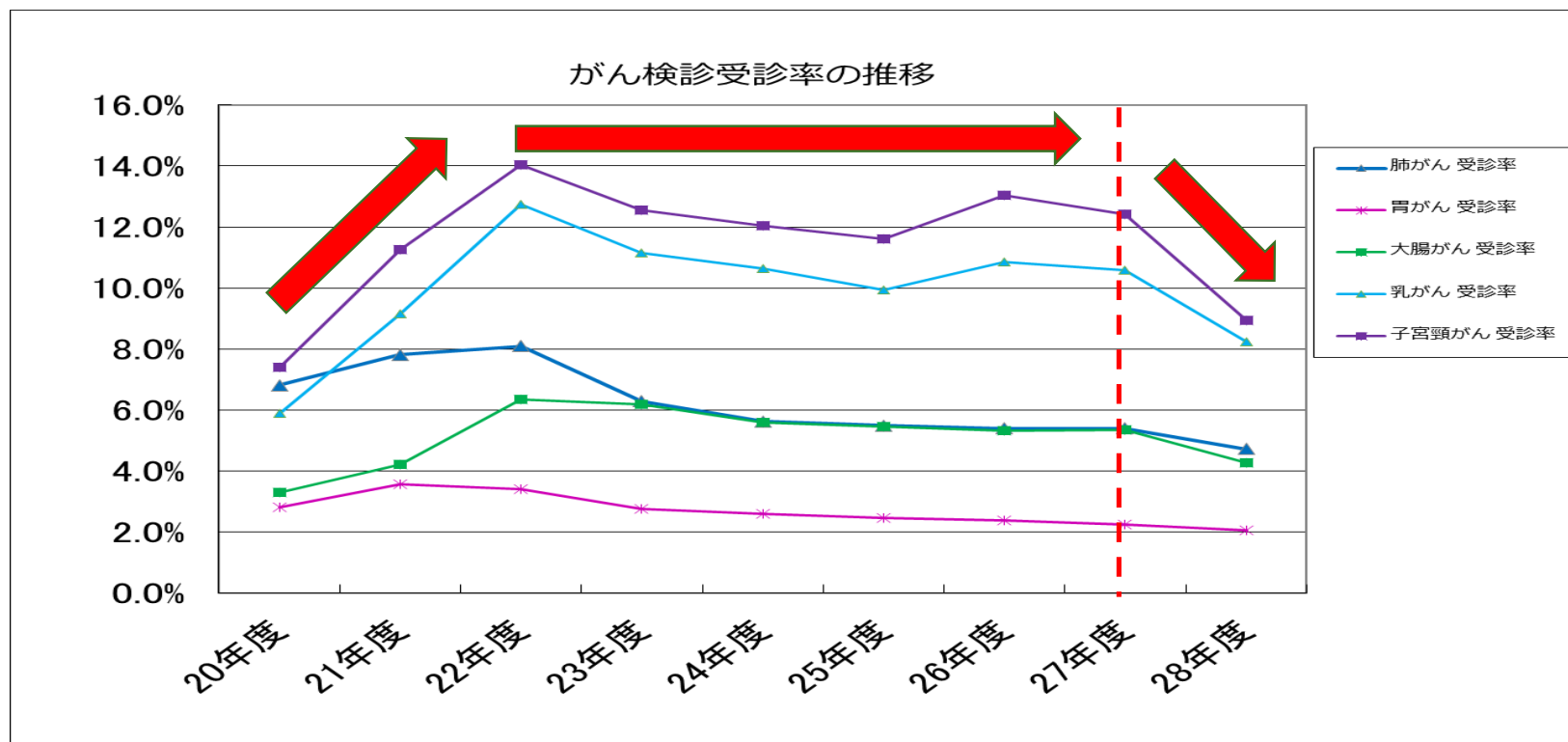
【がん検診受診率の課題】

【受診率の推移】

がん検診の受診率は、下記に記載した市町合併、無料クーポン事業等の制度変更、震災等により平成28年度は大幅に低下した。受診率は制度改正等の影響を受けやすい傾向にある。

【主な制度改正等】

- ・H20年度 富合町合併
- ・H21年度 城南町・植木町合併
子宮頸がん・乳がん検診無料クーポン事業開始
- ・H22年度 大腸がん検診個別検診開始
- ・H23年度 大腸がん検診無料クーポン事業開始
- ・H24年度 子宮頸がん・大腸がん（個別検診）自己負担額アップ
- ・H28年度 熊本地震発災
子宮頸がん、乳がんのクーポン対象者変更
大腸がんクーポン終了



【現在の取組】

【受診率目標と取組】

がん検診受診率目標は、7次総合計画の前期計画の検証値とし、その目標数値に到達できるよう各年度の受診率目安、受診者数目安を設定した。

受診率向上に向けた取組については、下記の市民への周知啓発から効果的な検診方法導入まで5本の柱で実施している。

	H28年度		H29年度		H30年度		R元年度		R1年度 (検証値)	R5年度 (検証値)
	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診者数	受診率	受診率	受診率
肺がん	20,000人	4.8%	21,233人	5.0%	21,142人	4.9%	20,748人	4.8%	6.2%	7.1%
胃がん	8,658人	3.2%	8,952人	3.0%	8,926人	2.9%	10,596人	3.3%	3.2%	5.1%
大腸がん	18,108人	4.3%	19,763人	4.6%	21,817人	5.1%	21,725人	5.0%	6.1%	7.1%
乳がん	9,287人	8.3%	10,199人	8.1%	13,282人	9.6%	14,403人	11.4%	10.7%	11.8%
子宮頸がん	13,095人	8.9%	17,949人	9.7%	20,534人	12.0%	24,275人	14.0%	12.9%	14.4%

目標：第7次総合計画目標値
期間：H29年度～R5年度

がん検診受診率向上

がん及びがん検診に関する周知・啓発

がん検診受診環境の整備

企業・団体等との協働による取組み

効果的な受診勧奨

効果的な検診方法等の導入・検討

取組概要

- ・がん及びがん検診の正しい知識の普及
- ・あらゆる機会を捉えた広報の実施
- ・各種団体等に対する啓発協力 など

取組概要

- ・特定検診とがん検診の同時実施
- ・休日がん検診の実施
- ・応急仮設住宅等への巡回検診 など

取組概要

- ・包括連携企業との連携強化
- ・がん対策企業等連携協定企業と協働の取組み など

取組概要

- ・検診初年度対象者に対する受診勧奨
- ・退職により受診機会を失った方に対する受診勧奨
- ・ハイリスク者に対する受診勧奨の実施 など

取組概要

- ・大腸がん検診検体郵送の取組み
- ・胃内視鏡検査の導入検討
- ・新たなステージに入ったがん検診総合支援事業（無料クーポン事業） など

【受診率向上の主な取組】

- ① 冬期における大腸がん郵送検診（H29年度～）
- ② 受診勧奨の拡充（がん検診ハリスク者など）（H29年度～）
- ③ 胃がん検診における内視鏡検査導入（H30年度～）
- ④ 効果的な無料クーポン事業の実施（H29年度～）
- ⑤ 70歳以上がん検診無料化（令和元年度～）
- ⑥ 新型コロナ感染症拡大防止（令和2年度～）

②受診勧奨の拡充（がん検診ハリスク者など）（H29年度～）

【乳がん、子宮頸がん検診の課題】

○無料クーポン制度改正により受診者数が大幅減

【取組】

○罹患率の高い世代（子宮頸がん：20～30代、乳がん：40～50代）
 の女性に対し受診勧奨圧着はがきで検診内容等を分かりやすく伝える
個別受診勧奨を実施

○受診勧奨の拡充状況

受診勧奨区分		平成28年度以前	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度以降
【一定年齢到達者】							
1	新規検診対象者（子宮頸がん：20歳）	3,700人	3,700人	3,700人	3,700人	3,700人	3,700人
2	新規検診対象者（その他4がん40歳到達者）	9,900人	9,900人	9,900人	9,900人	9,900人	9,900人
3	退職世代向け（62、65、68歳到達者）	30,000人	30,000人	30,000人			
4	退職世代向け（62、66、68、70歳到達者）				41,000人	41,000人	41,000人
5	節目年齢到達者（46歳、50歳）		20,500人				
6	節目年齢到達者（50歳、60歳）			19,000人			
7	無料クーポン事業対象者（子宮頸がん21歳）	3,700人	3,700人	3,700人	3,700人	3,700人	3,700人
8	無料クーポン事業対象者（乳がん41歳）	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人
9	無料クーポン事業対象者（子宮頸がん21歳）再勧奨		3,700人	3,700人	3,700人	3,700人	3,700人
10	無料クーポン事業対象者（乳がん41歳）再勧奨		5,200人	5,200人	5,200人	5,200人	5,200人
【ハリスク者向け】							
1	地震で受診機会を逸した方向け ※H25～27受診し、H28年度未受診者		33,000人				
2	子宮頸がんハリスク者 ※平成29年度（26～38歳、偶数年齢、女性）		30,000人				
3	子宮頸がんハリスク者 ※平成30年度（22～38歳、偶数年齢、女性）			31,000人	31,000人	31,000人	31,000人
4	次年度子宮頸がんハリスク者 ※平成31年度（22～38歳、偶数年齢、女性）			31,000人	31,000人	31,000人	31,000人
5	乳がんハリスク者 ※平成31年度（42～58歳（50歳除く。）、偶数年齢、女性）			41,000人	41,000人	41,000人	41,000人
6	次年度乳がんハリスク者 ※平成31年度（42～58歳（50歳除く。）、偶数年齢）			41,000人	41,000人	41,000人	41,000人
7	前年度郵送検診受診者への検査キット送付						2,000人
受診勧奨合計		52,500人	144,900人	224,400人	216,400人	216,400人	218,400人

受診勧奨 前年度末（3月末）

次年度乳・子宮頸ハイリスク対象者受診勧奨
対象者：約72,000人

再勧奨 当該年度中（9月頃）

当該年度乳・子宮頸ハイリスク対象者受診再勧奨
対象者：約72,000人

○次年度子宮頸がんハイリスク者受診勧奨圧着はがき（表）

対象：R3年度末年齢20～38歳、3月末発送



子宮頸がん検診ってどんな検査？

検査時間は10～20分程度。痛みはそれほどありません。

1. 医師による診察（問診・内診）



問診後、内診台に乗り、医師が子宮頸部の状態を目で確認し、子宮全体と卵巣・卵管などを触ってチェックします。ゆったりとしたスカートで受診されることをおすすめします。

2. 細胞診



子宮頸部の表面(粘膜)を綿棒などで軽くこすり、とった細胞を顕微鏡で調べます。このときほんの少し出血することはあっても、痛みなどはほとんどありません。

子宮頸がんのほとんどは性交渉でうつるありふれたヒトパピローマウイルス(HPV)が原因です。消滅しなかった場合は子宮頸がんを引き起こす可能性があります。

※HPVは一度でも性交渉の経験があれば感染している可能性があります。性交渉の経験がない方は、検診を受診する前に医師にご相談ください。

- ・がん検診で100%がんが見つかるわけではありません。継続的にがん検診を受診しましょう。
- ・精密検査が必要と書かれたら必ず受けるようにして、早めに受診しましょう。なお、検診でがんの疑いがあるとされた場合でも、精密検査の結果がんが見つからないこともあります。

対象年齢の方は熊本市より約6,400円の助成があります

子宮頸がん検診は助成がない場合、約7,600円程度の検査ですが、市の検診を受けると約6,400円の助成※があり、自己負担金1,200円で検診が受けられます。(医療機関で受診の場合)

※現金が支給されるわけではありません。

子宮頸がんは早期のうちに治療すれば90%以上が治ります

子宮頸がんが進行すると子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、早期に治療すれば、子宮を摘出せずに治療できるため、妊娠・出産も可能です。検診を受け早期発見・治療することにより、がんになるリスクや死亡リスクが減少します。

○子宮頸がん検診による早期発見の有効性(5年相対生存率)



出典：全国がんセンター協議会加盟施設における5年生存率(2010～2012年調査)

受診するのは2年に1回！

熊本市の子宮頸がん検診は、熊本市に住民票があり、年度内に20歳以上の偶数年齢になる女性が対象です。

※このはがきは令和3年度(2021年度)に20～38歳の偶数年齢を迎える女性に送付しています。

令和3年度(2021年度)子宮頸がん検診のご案内 必ず開封してください

お問い合わせ
熊本市コールセンター ひこまるコール
TEL (096) 334-1500 (市外からもお問い合わせ可)

熊本市 健康づくり推進課
TEL (096) 361-2145
〒962-0971 熊本市中央区大江5丁目1番1号

万一、このはがきが湿っている場合は、十分に乾かしてから矢印方向にゆっくりはがして中をご覧ください。

○次年度子宮頸がんハイリスク者受診勧奨圧着はがき（裏）

熊本市の子宮頸がん検診 申込方法

【受診期間】

令和3年(2021年)4月1日～
令和4年(2022年)3月31日まで

Step1 医療機関を選ぶ

中面にある医療機関一覧からお選びください。

Step2 電話にて申し込む

医療機関に直接電話して予約してください。

※原則予約不要ですが、診療の状況によっては受診できない場合もありますので、事前の電話をおすすめします。

●持ち物 保険証などの身分証明書
検診料(1,200円)

※生活保護受給世帯、市県民非課税世帯の方は
下記の証明書の提示で無料になります。

生活保護受給世帯 [生活保護適用証明書](令和3年度(2021年度)発行分)

または 令和3年度生活保護受給世帯世帯員名簿

市県民非課税世帯 市県民税(所得・課税)証明書 世帯分(1通400円)

(世帯全員の前課税を証明した最新年度分)

※[市県民税証明書世帯分]はマイナンバーカードを利用した

コンビニ交付サービスでは取得できません。

令和3年度(2021年度) 熊本市子宮頸がん検診 実施医療機関一覧

- ・熊本市のがん検診では受診券は発行しておりません。お電話の際に必ず「熊本市のがん検診を希望」とお伝えください。
- ・※がついている医療機関は要予約です

管内	所在校区	医療機関名	電話番号
中央区	黒瀬	よしむら産婦人科産科クリニック	345-8300
	磯台	あつじレディースクリニック	358-9325
		J&A熊本厚生連※	328-1262
		ソフィアレディースクリニック水溜町	322-2996
	城東	フォーシーズンズレディースクリニック	278-7870
		一新 福田病院	322-2995
	香竹	ゆのほら産婦人科医院	372-1110
	白川	田代産婦人科医院	362-1414
	大江	くまもと森都総合病院※	364-9090
		伊井産婦人科病院	364-4003
	出水	八木産婦人科医院	383-2311
	砂取	くわみず病院健診センター	381-2630
		森川レディースクリニック	381-4115
		聖アンナレディースクリニック	381-9670
帯山	さかぐち女性のクリニック	382-3600	
	長福	ワイメンズクリニック グリーンヒル	360-5511
東区	日出	日赤熊本健康管理センター※	387-6710
		長福そよかぜクリニック	285-4121
	健康	レディースクリニックなかむら	213-1555
	健軍東	ART女性クリニック	360-3670
	保軍東	熊本県総合保健センター※	365-2323
	桜木	森原産科婦人科医院	365-4103
	秋津	熊本心身医療クリニック	285-7721
	泉ヶ丘	いんでレディースクリニック	367-2333

管内	所在校区	医療機関名	電話番号
西区	城西	慈恵病院	355-6131
	春日	みやはらレディースクリニック	325-1107
	吉町	永永産婦人科医院	352-7280
南区	田辺西	産科・婦人科うじまクリニック	379-2727
	田辺	前田産婦人科医院	378-8010
	川尻	うちの産婦人科	288-5566
熊本パースクリニック		320-2334	
北区	榎木	清田産婦人科医院	273-4111
	北野東	北熊本井上産婦人科医院※	345-3911
	清水	朝日野総合病院	341-5075
隣接市	麻生田	高橋レディースクリニック	348-7575
	菊陽町	菊陽レディースクリニック※	213-5656
	宇土市	田山産科婦人科医院	0964-22-5522
宇城市	まつばせレディースクリニック	0964-34-0303	

- ・子宮頸がん検診についてより詳しく知りたい方は、熊本市ホームページへ。

熊本市ホームページ(がん検診のご案内)➡



- ・一部地域(榎木、城南、富合、飽田、天明、河内、北部)では検診車での集団検診を実施します。詳しくは市政だよりでお知らせしていきます。集団検診で受診する場合は、自己負担金は1,000円です。

○子宮頸がんハイリスク者受診再勧奨はがき

対象：年度末年齢20～38歳、約41,000人、9月上旬発送

郵便はがき

料金後納
郵便

**子宮頸がん検診は
お済みですか？**

今年度の受診期限は、令和4年(2022年) **3月31日**

お問い合わせ
熊本市コールセンター ひごまるコール
TEL (096) 334-1500 (専門的な問い合わせを除く)
熊本市 健康づくり推進課 TEL (096) 361-2145
〒862-0971 熊本市中央区大江5丁目1番1号

(表)

子宮頸がん検診の流れ

Step1. 事前予約

●実施医療機関に直接予約
予約の際には「熊本市のがん検診」とお伝えください！

← 子宮頸がん検診の実施医療機関は
こちらから

または熊本市ホームページ
「がん検診のご案内」をご覧ください。

一部地域では検診車での集団検診を実施します。詳しくは市政だより
でお知らせします。

Step2. 受診

●検診内容
問診／視診、内診／細胞診

●検診に必要なもの

- ・保険証などの身分証明書
- ・検診料(自己負担金)
◆実施医療機関 1,200円 ◆集団検診会場 1,000円

※当日はがきがなくても受診できます。
※生活保護受給世帯、市民税非課税世帯の方は、一定の証明書の提示
で自己負担金が免除になります。

Step3. 結果の確認

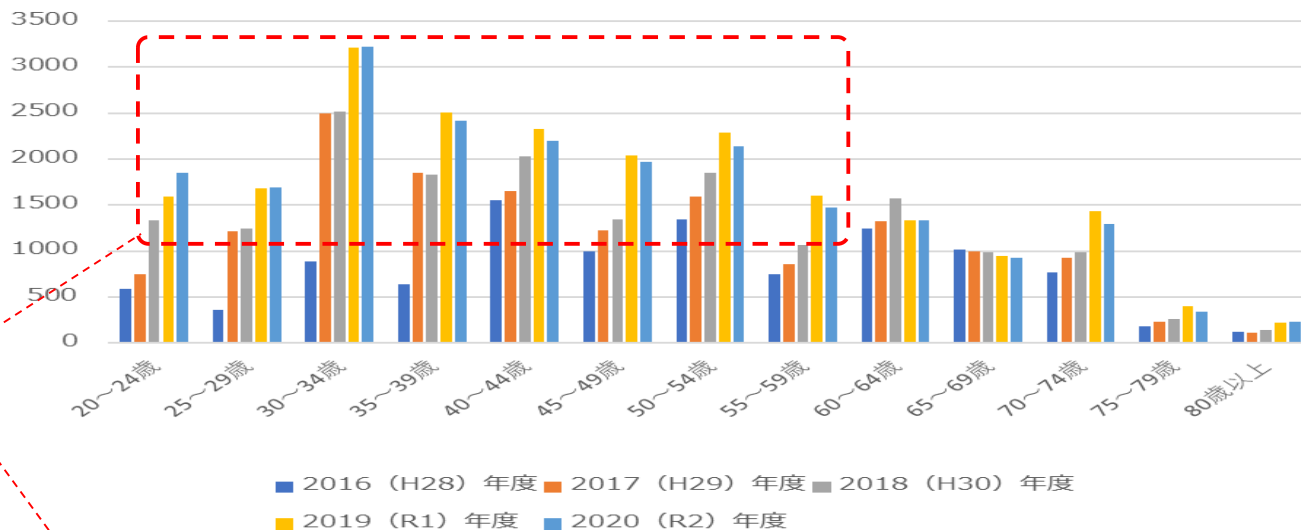
検査結果は約4週間後に郵送にてお知らせします。

このはがきは令和3年度(2021年度)に20～38歳の偶数年齢を迎える女性に送付してい
ます。今年度既に受診された方は受診できませんのでご容赦ください。

(裏)

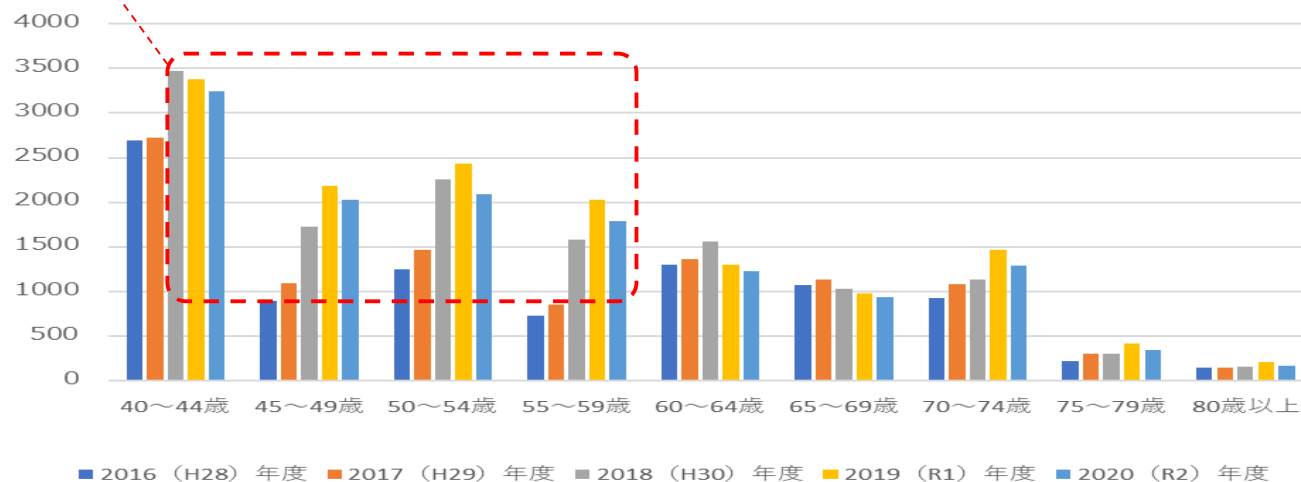
子宮頸がん・乳がん検診年齢階層別受診者数年次比較

子宮頸がん検診年齢階層別受診者数 (H28-R2比較)



ハイリスク者への個別
勧奨を行った対象年齢
階層が突出しており、
個別受診勧奨が効果
的であったことが判る。

乳がん検診年齢階層別受診者数 (H28-R2比較)

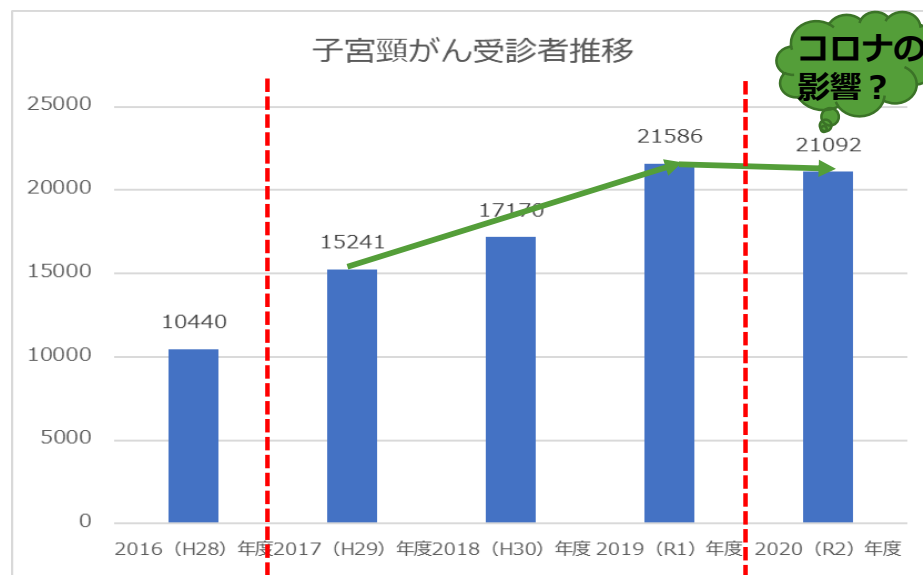


【結果】

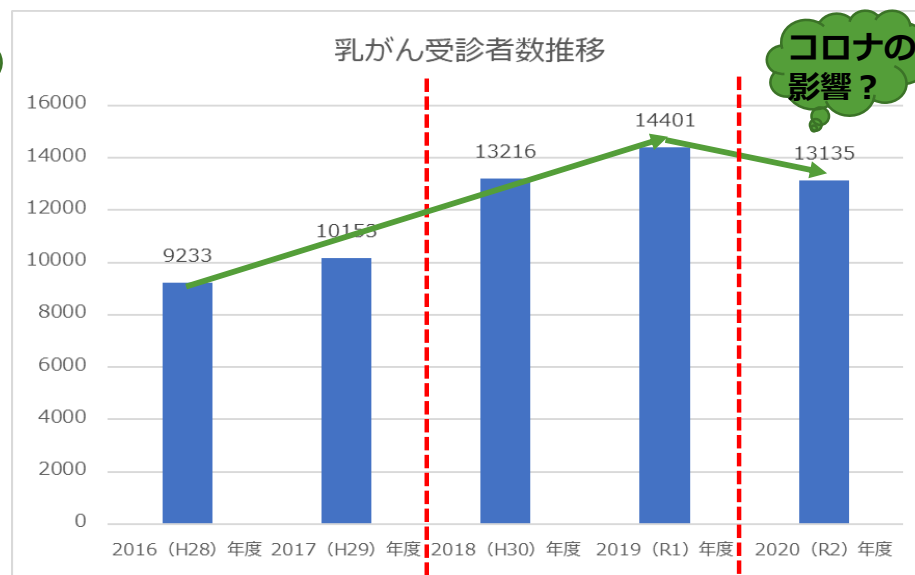
○子宮頸がん検診受診者数：100.2%増（H28年度比）
 乳がん検診受診者数：42.4%増（H28年度比）

区分	H28	H29	H30	R1	R2	備考
子宮頸がん	10,440人	15,241人	17,170人	21,586人	21,092人	※取組開始（赤字部分）
乳がん	9,223人	10,153人	13,216人	14,401人	13,135人	※取組開始（赤字部分）

※子宮頸がん検診受診者数に妊婦健診での受診者数は含まない。



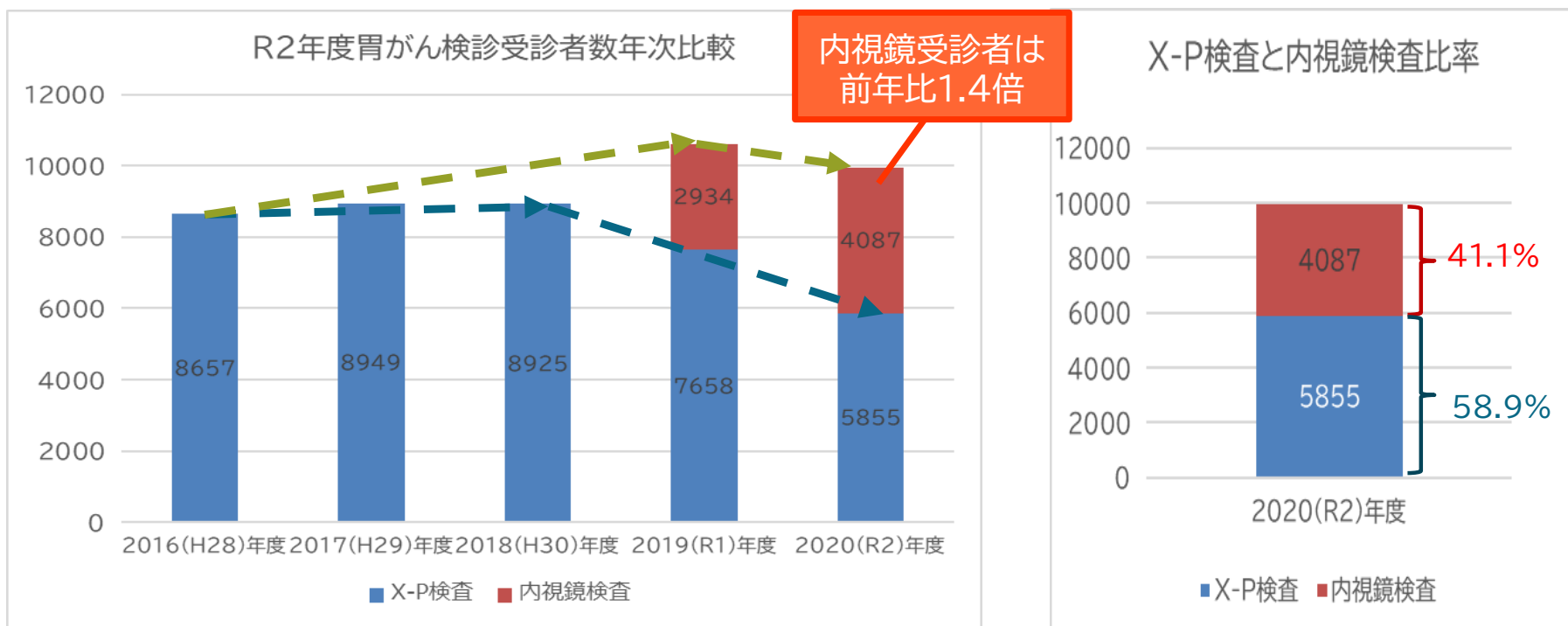
H29年度取組開始



H30年度取組開始

③胃がん検診における内視鏡検査導入（H30年度～）

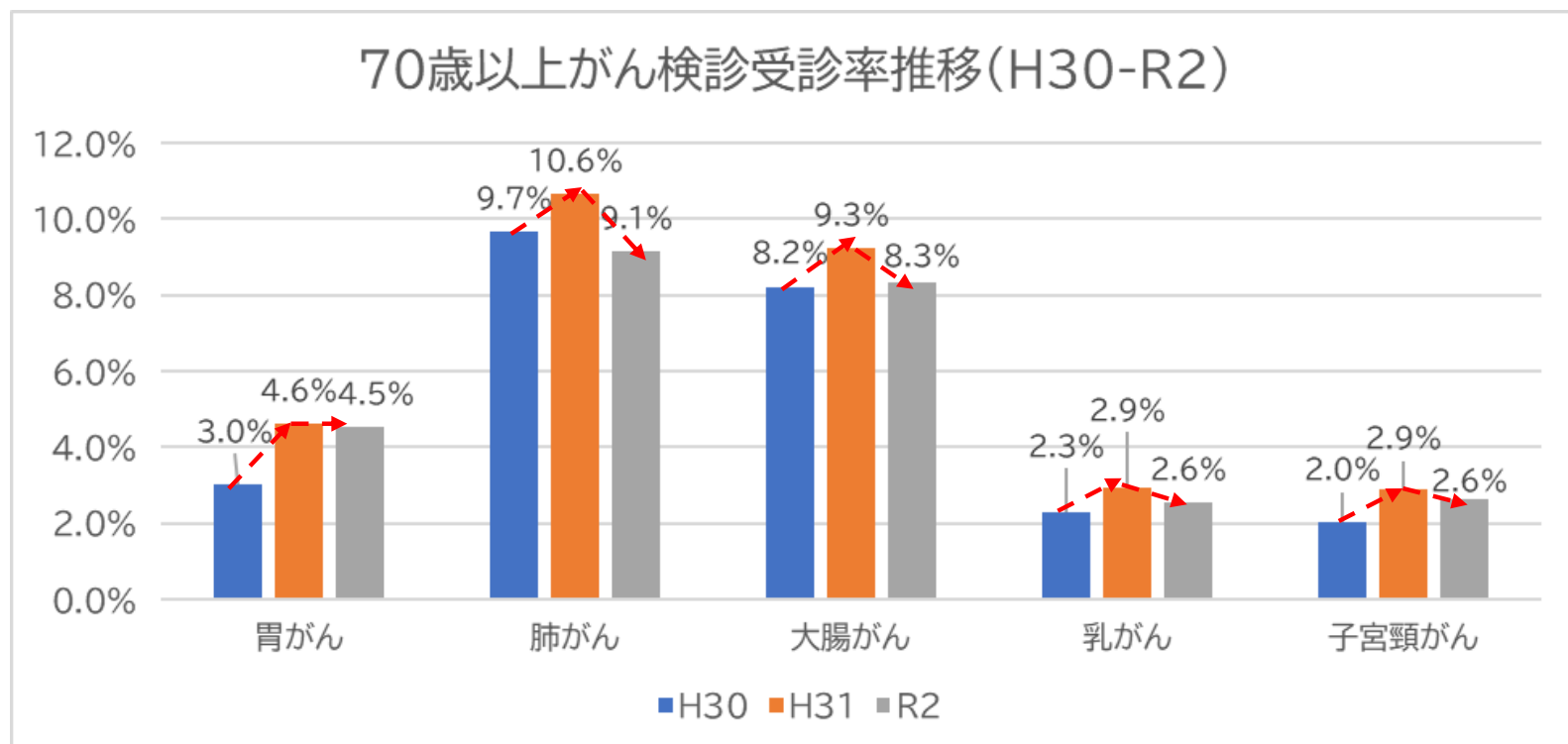
- ・胃がん検診の受診者数を年次比較では平成30年度までは横ばい傾向、胃内視鏡検査の本格導入後の令和元年度以降増加した。しかし、X線検査は減少傾向で、令和2年度はコロナ禍もありさらに減少している。
- ・令和2年度では胃内視鏡検査が、胃がん検診受診者の約4割を占めている。



⑤ 70歳以上がん検診無料化（令和元年度～）

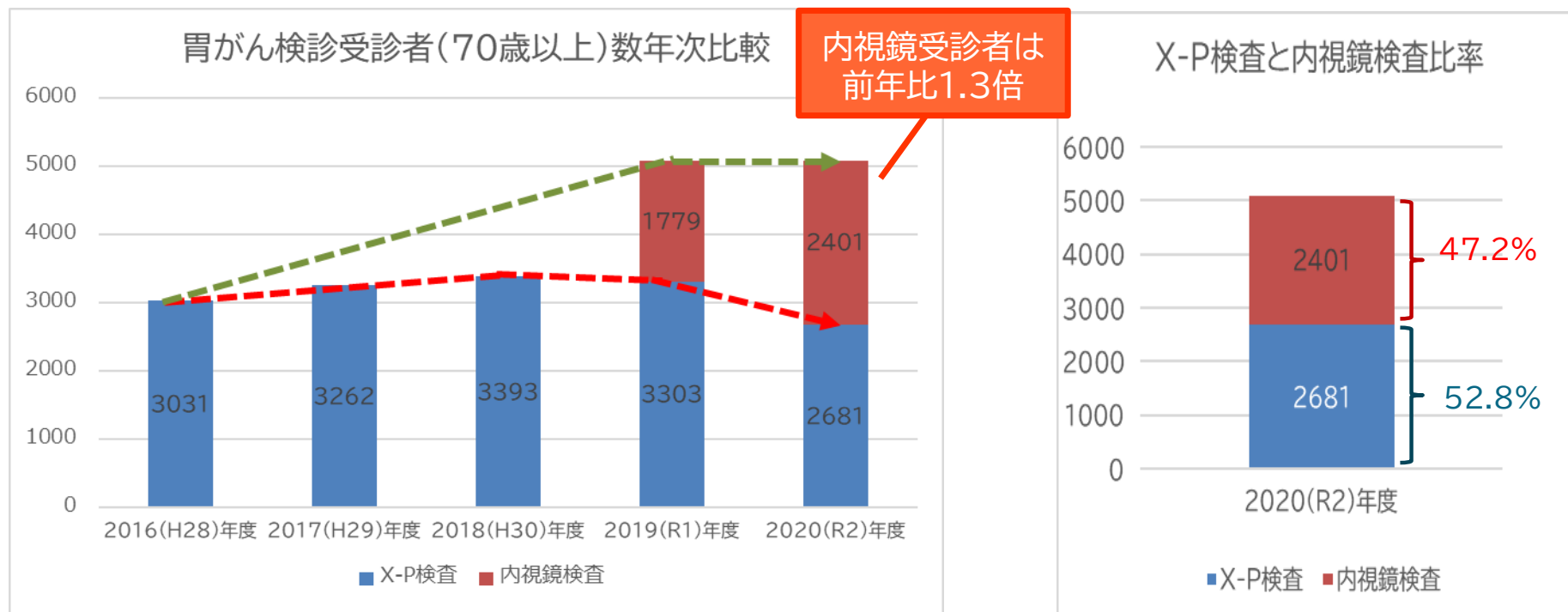
・70歳以上のがん検診無料化を行った平成31年度は、すべてのがん検診で受診率が向上したが、令和2年度は受診率が低下した。

・これは、コロナ禍で8月まで集団、巡回検診を中止したことに加え、高齢であるため、受診を控えたケースもあるのではないかと考えられる。



胃がん検診における内視鏡検査導入（70歳以上再掲）

- ・胃がん検診の70歳以上の受診者数を年次比較してみると全体とほぼ同じの傾向であった。
- ・70歳以上では、令和2年度で胃内視鏡検査が、胃がん検診受診者の約5割を占めていた。これは、コロナ禍で8月まで巡回検診を中止したため、個別検診機関で受診可能な胃内視鏡検査の受診者が増加したと思われる。



⑥新型コロナウイルス感染症拡大防止(令和2年度～)

1 今後の方針:継続実施

2 事業及び事業効果等

万全な感染症対策とともにがん検診受診率向上に努める。

- ① 受診者の集団検診時の検温、手指消毒等の実施等(検診実施機関による実施)
- ② 大腸がん郵送検診の期間延長の検討(R3年度より実施)。
- ③ 肺がん検診個別受診導入検討(市医師会と実施検討に向けた協議中)。

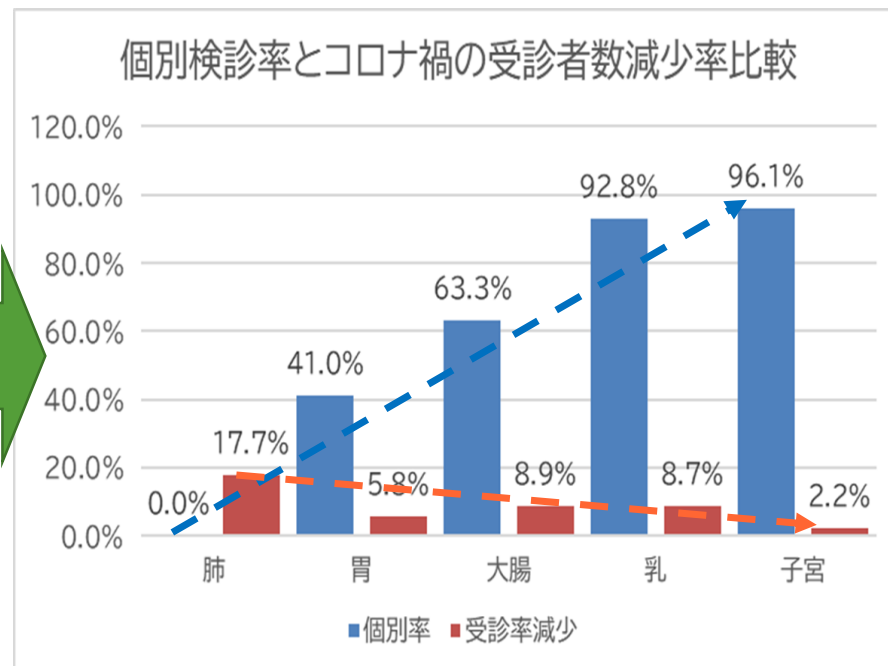


がん検診におけるコロナ禍の影響

以下の表のとおり、すべてのがん検診で受診者数が減少しているが、8月末まで集団健診を中止したこともあり、肺がん検診のように集団健診のみの検診は受診者数の減少がより顕著であり、逆に個別検診の実施率が高い検診は受診者数減少の影響を受けにくかった。

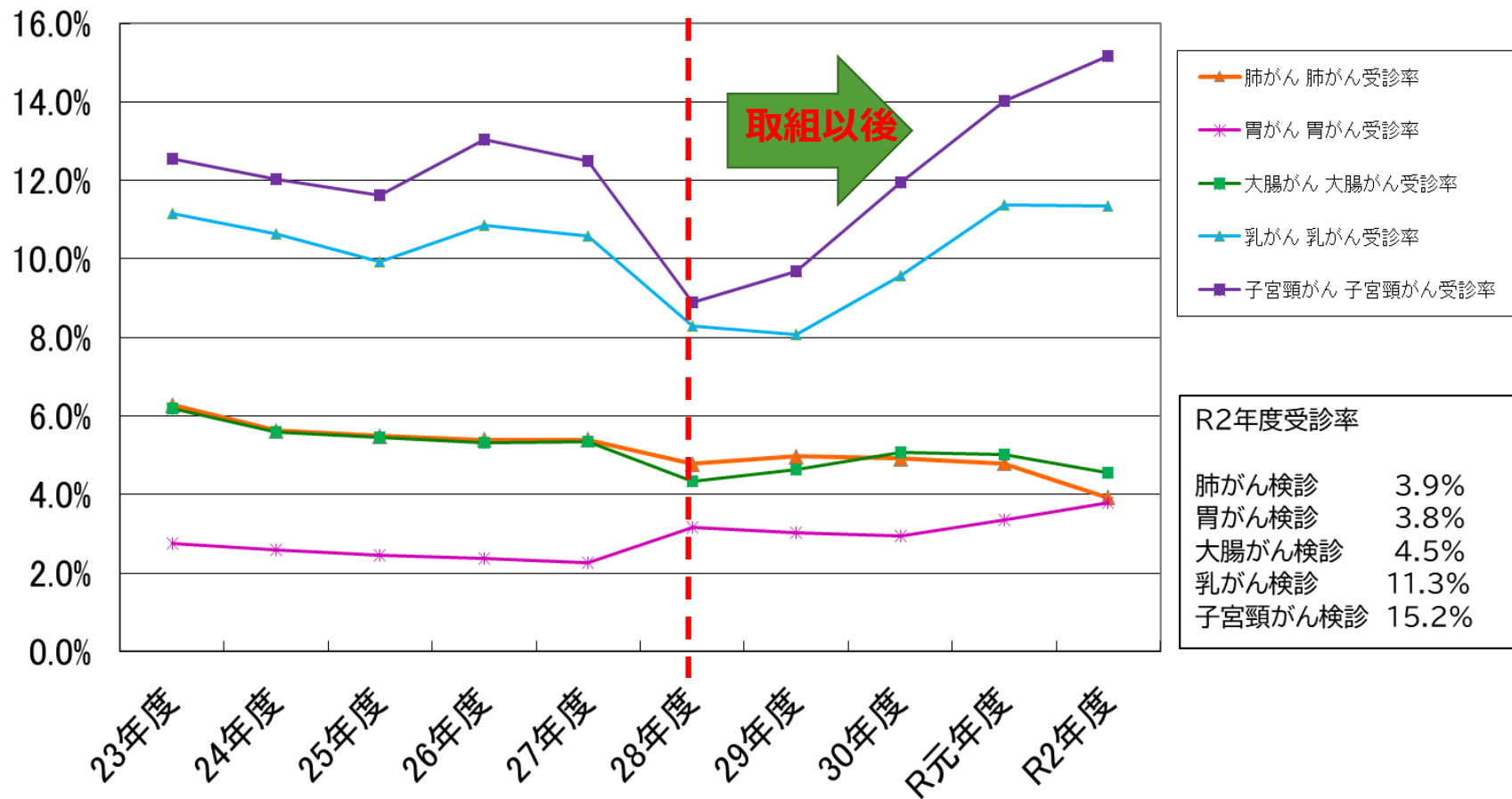
○受診者数比較（R元-R2）

	R元年度 受診者数	R2年度 受診者数	受診者 増減(%)	個別検診実施率 (令和2年度)
肺がん検診	20,748人	17,071人	△17.7%	0%
胃がん検診	10,596人	9,972人	△5.8%	41.0%
大腸がん検診	21,725人	19,781人	△8.9%	63.3%
乳がん検診	14,401人	13,135人	△8.7%	92.8%
子宮頸がん検診	21,586人	21,092人	△2.2%	96.1%



令和2年度末までの受診率推移

がん検診受診率の推移



【参考】がん検診の進め方に関するロードマップ

		啓		環		連		動		新	
取組	がん種類	取組名	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30年度 (2018年度)	令和元年度 (2019年度)	令和2年度 (2020年度)	令和3年度 (2021年度)	令和4年度 (2022年度)		
受診率向上の取組	胃	新 胃内視鏡検査導入	導入検討			胃内視鏡検査導入	継続実施				
	肺	新 肺がん検診個別検診化						導入検討 予算措置	個別検診 開始予定		
	大腸	新 郵送検診検診の開始	導入検討	郵送検診開始 ⇒ 効果検証・利便性向上			継続実施（拡大）				
	乳・子宮頸	勸 無料クーポン再勧奨等		乳・子宮頸無料クーポン個別再勧奨 生まれ月による受診月指定			改善実施（無料化実施で事業中止） ※利用率向上困難の場合は場合は中止検討				
		勸 ハイリスク者個別勧奨			ハイリスク者（40～50代） 個別受診勧奨・再勧奨		継続実施 乳・子宮頸がん検診の無料化 も今後検討				
	5が ん 目	勸 退職世代への受診勧奨		退職世代（62・65・68歳） 個別受診勧奨の実施		R元年度 70歳拡充		継続実施			
		環 応急仮設住宅巡回検診等		藤山仮設、東町仮設で巡回検診 他の仮設に配布実施			R元年度 事業終了				
	5が ん 目	勸 節目年齢受診勧奨拡充		節目年齢個別受診勧奨の拡充 ※40歳 → 40・50・60歳			継続実施				
		連 がんに関する講演会		市・企業協働による乳がん講演会			継続実施（イベント等の再開）				
		啓 いきいき健康大使		熊本市いきいき健康大使による啓発			継続実施（イベント等の再開後）				
環	がん検診完全無料化	無料化の他都市調査等			70歳以上 無料化		恒久or時限無料化 全部or一部がんで実施を検討				
新たながん検診等の実施検討			胃内視鏡検査導入検討	胃内視鏡検査開始			胃がんリスク 検査導入	引き続き、効果の見込める検診 等の導入検討			
がん検診における感染症対策								集団・巡回検診における感染症対策の 実施			

がん検診無料化方針の決定